

高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書

提出日：2010年5月10日

1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	加藤晶子
連絡先・所属など	彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば akkokato@wood.odn.ne.jp
調査研究・研修のテーマ	彩の国資源循環工場による環境影響調査

2. 調査研究・研修結果の概要

彩の国資源循環工場は、埼玉県所有地を借りた9社からなる産業廃棄物処理施設群で、埼玉県環境整備センターという埼玉県の一般ゴミの埋立て最終処分場(約90ha)の敷地内にあり、こちらの影響も考えられることが見えて来た。ここは三ヶ山(みかやま)という三方を山で囲まれた台地であり、周囲からは山で遮られた高台にある。塩沢川という荒川の支流の最上流に位置する。このため、いったん汚染があると、直接的には塩沢川を通じて荒川へ流れ、埼玉県南部と東京都民の水道水の取水地から、人々への影響が考えられる。実際、2006年には、この中のガス化溶融炉(オリックス資源循環)から鉛、ホウ素の汚染漏れがあったことが、翌年に発覚し、ダイオキシン値が基準値を超えた。

三方を山で囲まれているため、ここの地下水、塩沢川の水源はこれらの地山が溜め込んだ雨水であり、多少は地質の影響を受けているものである。

その他、三ヶ山の外側で廃棄物埋立てと産廃工場群からの影響が考えられる川は、吉野川、五の坪川(深沢川)、兜川(小川町)。

そこで、周辺の河川と地下水の現在の特徴を知るためにオクタダイアグラムを作成し、専門家から講評していただいた。

また、電気伝導度は簡易ではあるが信頼のおける精度の計器で、pHはパックテストより精度の高い比色計で、その他の項目はパックテストで、毎月1回のペースで測った。

これらの結果から、一般廃棄物埋立てまたは産廃工場群のある三ヶ山は、河川や地下水が汚染されているようである。その汚染の原因について、事業者である埼玉県に説明責任がある。

埼玉県でも水質に関しては、一般廃棄物埋立てについて、各環境調査を行っているが、特に環境影響が出ているというインフォメーションはない。

3 . 調査研究・研修の経過

- ・ 2009.3.21 水生昆虫調査・水質調査（河川）
- ・ 2009.4.4 サクラ調査
- ・ 2009.4.9 魚調査＜依田先生＞ 昨年度の湧水調査と共に地元、埼玉県環境整備センターへ報告
- ・ 2009.5.30 水質調査（河川・湧水）「川の探索会」＜大沼先生＞外部機関で測定 オクタダイアグラム作成・大沼先生からレポート
- ・ 2009.6.14 水質調査（河川・湧水）
- ・ 2009.6.30 水生昆虫調査・水質調査（河川）
- ・ 2009.7.22 塩沢川下流から上流まで観察「塩沢川を川登り」
- ・ 2009.8.2 水生昆虫調査・水質調査（河川）
- ・ 2009.8.28 水質調査（湧水）
- ・ 2009.10.17水質調査（河川）
- ・ 2009.11.22水生昆虫調査・水質調査（河川）
- ・ 2009.11.26水質調査について今後の方針検討＜大沼先生＞
- ・ 2009.11.29水質調査（湧水）外部機関で測定 オクタダイアグラム作成」＜大沼先生＞
- ・ 2010.1.24 水質調査（河川）
- ・ 2010.2.21 水質調査（河川）
- ・ 2010.3.14 水生昆虫調査・水質調査（河川）
- ・ 2009.4.4 サクラ調査
- ・ 2010.4.25 水質調査（河川）

4 . 対外的な発表実績

- ・ 2009.4.24「無駄な公共事業の徹底見直しを実現する全国大会」へ賛同、彩の国資源循環工場と第一期事業について事例報告提出
- ・ 2009.4. 生活クラブ地域協議会主催工場見学時に、埼玉県へ魚調査時の不法投棄報告
- ・ 2009.5.18 寄居町監視員総会へ第一期事業について意見書提出
- ・ 2009.9.27 高木基金成果発表会で報告
- ・ 2009.10.9 埼玉県川辺再生事業へ塩沢川と五の坪川を提案 不採用
- ・ 2009.10.31高木基金「第2回ごみ処分場問題の公開研究会」で発表

5 . 今後の展望

・ 今回すでに、水質について汚染がおきていると思われる状況について、事業者である埼玉県、寄居町監視委員会(対策協議会連合)などに報告とともに、マスコミにも公表していきたいと思う。水質調査については、今後も継続していきたい。